

【声に出して読む】 俳句 正岡子規 五

夜やすらふ 富士の煙の うすれゆく

よやすらう ふじのけむりの うすれゆく

糸瓜咲き 病名は死と 診定しけり

へちまさき びょうめいはしと しんていしけり

幾山河 越えさり行かば 寂しさの

いくやまかわ こえさりゆかば さびしさの

曼珠沙華 どこまで行っても 道の果

まんじゅしゃげ どこまでいっても みちのはて